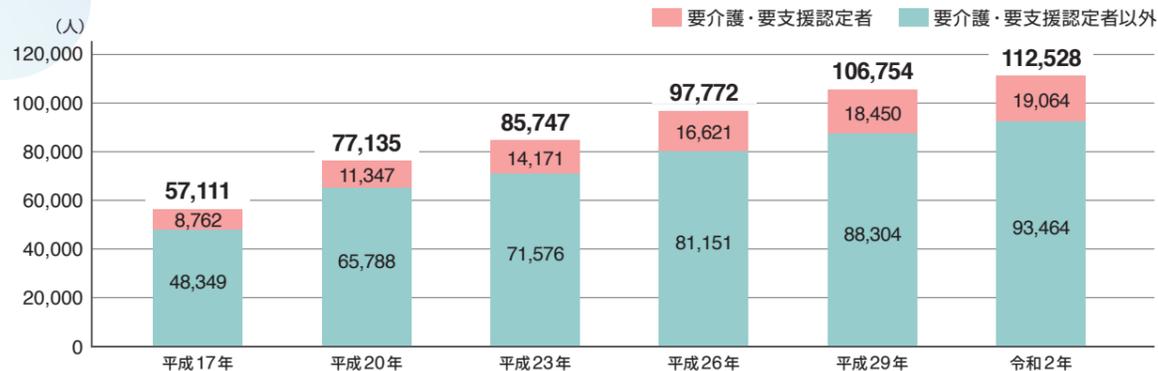
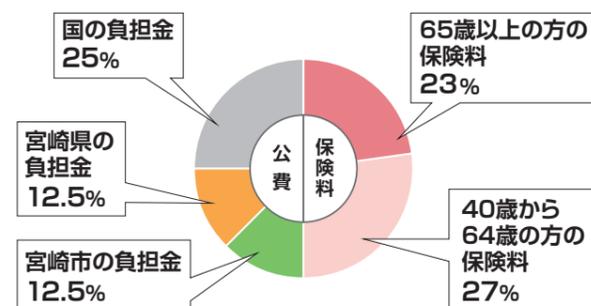


グラフ① 65歳以上の人口と要介護認定者数の推移（宮崎市）



グラフ② 介護保険給付費の負担割合



介護保険は、公費と40歳以上の方が納める保険料でまかなわれています。宮崎市の介護サービスにかかる総費用（利用者負担分を除く）のうち、65歳以上の方が負担する割合が23%、40歳から64歳の方が負担する割合が27%となっています。

介護保険の財源

介護保険制度へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします

介護保険課 伊森ちひろ

65歳以上の人の介護保険料の基準額（年額）
73,800円
 ↑ 5,400円増
68,400円

今回の宮崎市民長寿支援プラン（介護保険事業計画）の見直しにより、令和3年度からの介護保険料額が改定となりました。
 介護保険料は、介護サービスにかかる総費用や65歳以上の人数に応じて、市町村ごとに基準額を決定します。この基準額をもとに、所得の低い方などの負担が大きくなるような負担が大きい状況および所得に応じて12段階に

区分けしています。市では、グラフ①を見てもわかるように、65歳以上の人口が近年著しく増えているとともに、要介護・要支援認定者の割合も増えています。今後とも高齢者福祉施設などの整備や、さまざまな介護予防・認知症予防事業などに取り組み、介護サービスの充実を図り、生活の質の向上に努めます。

介護保険料を見直しました！

基本理念

すべての高齢者が住み慣れた地域の中で、安心して暮らせるまちの構築

今年度から令和5（2023）年度に新たな「宮崎市民長寿支援プラン」を実行します

重点的に取り組む4つの課題

2 認知症の人が認知症とともにより良く生きていくことができる地域づくり

今回、新しい重点課題となったものです。地域全体で認知症の人を見守ることができる体制の構築を進めます。



認知症の人への声かけなどについて、専門職のアドバイスを聞きながら、地域住民が主体となって模擬訓練を行います。

1 自立した生活を継続するための「自立支援」「重度化防止」の推進

高齢者の生活の質が向上するよう、運動・栄養・口腔・認知症予防に関わる取り組みと、介護予防につながる地域の通いの場を充実させます。



低栄養の改善や誤えん性肺炎を予防するサービスなど、今、栄養や口腔が注目されています。

4 地域でいきいきと活動的に暮らすための生きがいづくり活動の推進

運動やその他趣味のサークル活動などを続けることで、多世代の人と人とのつながりを広げ、地域での役割を実感することができるような取り組みを推進します。



みんなでやると体操も楽しい。教室で体を動かし、おしゃべりすることも介護予防につながります。

3 高齢者の生活を支えるための地域自治区を基本としたサービス体制の整備

医療や介護のサービスを切れ目なく提供していくために、市内22の地域自治区ごとに介護サービス事業所などの整備と、その基盤となる人材の確保、定着を目指します。



認知症の高齢者の方が入所できるグループホームなどの整備を進めます。

3 すべての人に健康と福祉を

すべての人に健康と福祉を「誰一人取り残さない」地域の人がつながり地域で元気に

193の国が2030年までに達成するためのゴール（目標）として定められたSDGs（持続可能な開発目標）。17のゴールのうち、3番目に掲げられたのが「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」というものです。高齢者になっても住み慣れた宮崎市で安心して暮らす。地域の役割を考え、人々のつながりを大切にしていきたいと思います。



地域で支え合い、笑顔で元気に長生きを。



持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals = SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。宮崎市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

問 介護保険課 TEL 21-1777 FAX 31-6337